

オウム対策住民協議会ニュース No. 2

足立入谷地域オウム真理教（アレフ）対策住民協議会

協議会の目的

会は、足立入谷地域へのオウム真理教（アレフ）進出による平穏な生活への脅威に対して、地域住民が主体的に反対運動を展開し、進出を阻止、退去、解散させることで入谷地域における安心して暮らせる地域社会が継続することを目的とする。

観察処分の更新のため、住民一人ひとりの声を署名に

足立区にその活動拠点を置くアレフ（オウム真理教）は、現在でも「麻原」の肖像写真を壇上に飾りこれを崇拜し、「麻原」が過去に為した残虐極まりない無差別殺人等の不法行為を是とする危険思想を掲げ、今もって付近住民に大きな危惧と不安を与えています。

現在は、「団体規制法」により、観察処分対象として監視の下に置かれていますが、その期間が来年1月には切れてしまいます。

この観察処分対象から外され監視の目がなくなると、彼らは隠していた爪を剥き出しにし、付近住民に何らかの形で襲い掛かって来ることは必定です。法務省などに対し、「観察処分の更新」を要請するため、より多くの皆さんの声を「署名」にする必要があります。

この足立区を安心できる地域に戻すために、皆さん一人ひとりの思いを関係各局に届けさせて下さい。

そして、彼らの観察処分の更新を是非実現させて下さい。

その為の署名活動に、どうかご協力をお願い致します。

尚、署名にご協力をいただいた皆さんの個人情報、署名活動目的以外には絶対に使用しません。当協議会の名の下に全責任をもってご誓約申し上げます。

オウム（アレフ）・撤去・解散・抗議、デモ、行進、大集会を開催

この度は、東日本大震災により被災された方々、不幸にも亡くなられたみなさまには心より、ご冥福とお見舞いを申し上げます。

3月19日に予定されていましたが、抗議デモ、集会も未曾有の大震災により、安全、警備上の問題等でやむなく中止せざるを得なくなり、改めて6月11日（土）に、夜半より午前10時半頃まで大粒の雨、挙行が危ぶまれましたが11時頃には小雨となり予定通り決行されました。

午後1時よりオウムは要らない、即解散、撤退の横断幕を持ち区長、協議会会長、町会長を先頭に、他町会、自治会関係者、住民総勢200余名が参加、「オウムは要らない、安心の町を返せ、即時撤退、解散しろ」のシュプレヒコールを連呼、2kmの道のりを1時間程行進、途中オウム（アレフ）の居住建物にて抗議文の手渡しを望んだが叶わず、建物前で「住民の不安、脅威、当地域進出及び居住に断固反対、速やかに不動産の処分、団体の解散、退去」の抗議文をポストに投函をしました。

また、デモ行進が無事終了出来たのも、警察、関係者方達の理解と協力の賜物と感謝いたしています。

デモ解散後、午後2時30分旧入谷南小学校体育館で引き続き集会を開きました、天候の事もあり参加者250名程、デモにも参加された近藤区長の挨拶では地域住民また区民一丸となりオウム（アレフ）に対しあらゆる条例、規制行使を活用し、反对抗議行動オウム、解散、撤去、居住反対等の運動展開しなければならぬその為の支援、協力をするも改めて住民みなさまの協力が必要の要請が有りました。

一時期オウム、ひかりの輪、2組のオウム関連施設があった、世田谷区烏山地域オウム（アレフ）対策協議会、古馬事務局長による講演「オウム（アレフ）に関わって」演題でオウム真理教が無差別サリンテロより数年後に烏山地域に居を移したのを期にオウム対策協議会を立ち上げ、あらゆる反対運動、新聞発行、団体規正法署名活動、住民達の見張り監視活動、資金調達バザーの開催、話の中でも住民皆さんが一丸となり継続な反対運動が欠かせない、全国的に協力連絡を取りながらこれからも解散、退去に向かい運動が必要ではないのか講演で午後4時に終了しました。



抗議デモ集会

協議会と区との関係を深めて

足立区危機管理室長 川口 弘

5月1日付けでオウム真理教対策を担当する危機管理室長を拝命いたしました川口です。4月までは環境部でリサイクルやごみ処理関係を担当しておりました。日常的で身近な業務から一転、災害や治安、オウム対策といった、非常事態に対する任務に変わり、新鮮な気持ちです。

さて、入谷施設につきましては、住民協議会をはじめ区民の皆様、議会、行政の幾度にも渡る抗議活動にもかかわらず、50人以上の信者が居住するに至っております。そして今、区を相手取って、2件の裁判を起こし、法廷での争いを仕掛けてまいりました。まさに、アレフからの足立区民に対する挑戦状であります。

先般の第一回公判の際には、たいへん大勢の皆様が東京地方裁判所に応援に駆けつけていただき、傍聴席を埋め尽くしていただいたことで、裁判官に、「地域はこぞってこの裁判に注目している。アレフの主張は間違っている。」との気持ちが届いたものと確信しております。被告として大変心強く、またご足労おかけしたことに心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。勝訴までの道のりは長く厳しいものになるものと覚悟しておりますが、皆様のお力添えをどうぞよろしくお願いいたします。

観察処分を更新を求める署名の活動につきましては、協議会の皆様の熱意と真剣さが足立区町会連合会に届いて、有馬会長さんとの連名の署名用紙になりました。区内400以上の町会自治会の全面協力です。入谷地域だけの問題ではない、足立区全体の、いえ、日本全体の問題だとして、足立区長もこれを重く受け止め、最大限の支援をお約束しました。ほかにも、区と関係するさまざまな事業者の皆さんや団体の皆さんにも協力をお願いしていく予定です。地域の力と行政の力を合わせて大きな運動の輪に育てていくよう一緒にがんばりましょう。

ただし、大変厳しい猛暑が続いておりますので、くれぐれも無理をされぬようご自愛ください。

引き続き協議会などにお邪魔いたしますが、7月13日付で危機管理課長に就任した大野課長ともどもよろしくお願いいたします。

協議会活動報告

(平成23年)

- 1月20日 協議会ニュース第1号発行
- 3月 2日 オウム真理教（アレフ）対策近隣町会・自治会連絡会開催
- 3月 3日 要請書提出（「反社会的団体の規制に関する条例」に従い報告書を提出することと、即時退去を併せて要請する）
- 3月 9日 アレフより「申入書」を受け取る
- 3月29日 平成22年9月2日、11月28日付けの抗議文に対し宝樹社より回答
- 5月21日 住民協議会総会 実行委員会
- 6月 7日 道路占用不許可処分取消等請求事件 第1回口頭弁論
- 6月 8日 第2回真理教対策勉強会 衆議院第一議員会館第2会議室
オウム真理教対策関係市町村連絡会 グランドアーク半蔵門
- 6月11日 住民協議会デモ及び集会
- 6月30日 過料処分取消請求事件 第1回口頭弁論



総会での区長挨拶

一人でも多くの署名を

足立入谷地域オウム真理教（アレフ）対策協議会
会長 齋藤 洋一

宝樹社が入谷地域に土地・建物を取得し早くも1年が過ぎ、さらに居住が始まり8ヶ月も経過しアレフが足立の地から出て行く事由も不適切と判断をせざるを得ず、我々は司法の手で解散・解体を願い活動を展開して行く所存でございます。

平成11年破壊活動防止法の適用が論議され成立に至りませんでした。アレフは平成12年観察処分に科せられ今回4回目の更新に向け目標を達するため、平成24年1月に期限が満了致しますとアレフは自由の立場に近い恐れがあり、それは大変危険なことで何としても阻止をしなければなりません。

住民協議会は、足立区民の皆様より一人でも多くの署名を頂き、観察処分の更新を行う目標こそ私達の願いです。今一度アレフの過去の足跡を確認したいと思います。

平成6年松本サリン事件、平成7年地下鉄サリン事件、いづれも多くの方々の犠牲を繰り返すことは絶対許せません。

我々住民協議会は、足立区の町・自連の大きなご協力を頂きまして、法務省、公安調査庁、公安委員会等に対しまして多くの足立区民の署名を頂き国に提出して行きたいと思っております。又、さらに駅頭での署名活動も合わせて展開して参りたいと存じ宜しくお願い申し上げます。